

2011年度

科目名	ゼミナールⅠ				
担当教員	阪口 むつみ				
配当	教福3		コード	33060	
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数	4
授業テーマ	知的大学・社会生活のための表現力を高める学び				
目的と概要	他者との関わりによって質の高い学びが出現するのであるが、それにはコミュニケーション力が重要となる。授業の前半は、コミュニケーションの4本柱である「読む」「書く」「プレゼンテーション」「ディベート」について取り組み、問題を受け止める力、深く考える力、分析する力、結論を出す力、文章にまとめる力、的確に人に伝える力を身に付けるのが目的である。尚、教育実習前には4回生からの体験談を聞き、事前学習の時間を設けている。後半は「音楽を構成する要素の分析と理解」に取り組み、コンピュータを活用しながら「音楽とは何か」を考え、コンピュータを活用した音楽表現に取り組む。				
成績評価法	授業への姿勢30%、レポート、作品等70%で評価する。				
テキスト	特に指定しない。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	ゼミという小さな社会での他者との関わりを大切にしてほしい。欠席する場合はできるだけ連絡し、欠席した場合は必ず出席した学生から内容を聞き、次の授業に備えること。				
講義計画					
1. イントロダクション 授業の内容、進め方、授業に対する緊張感についてなど 2. 教育実習の前に① 4回生の体験談からの学び 3. 教育実習の前に② 4回生の日誌からの学び 4. 幼児・児童との音楽を介したコミュニケーション① 5. 幼児・児童との音楽を介したコミュニケーション② 6. 幼児・児童との音楽を介したコミュニケーション③ 7. 先行研究（音楽分野）の読解と要約① 8. 先行研究（音楽分野）の読解と要約② 9. 先行研究（音楽分野）の読解と要約③ 10. 先行研究（音楽分野）の読解と要約④ 11. 教育・保育現場の実情について（教育実習報告） 12. プレゼンテーションについて 13. PowerPointによるプレゼンテーション 14. レポート・論文の書き方、レポート課題の提示 15. インテルメッツォ 前期反省会と後期の進め方について 16. 課題（第14週目に提示した）の発表① 17. 課題（第14週目に提示した）の発表② 18. 音楽のテーマによるディベート 19. 文化史と音楽史 20. 音楽を構成する要素の分析と理解① 21. 音楽を構成する要素の分析と理解② 22. 音楽を構成する要素の分析と理解③ 23. コンピュータと音楽、どこまで可能か 24. 音楽と数値 25. DTMについて 26. DTM実践① ノート情報 27. DTM実践② コントローラ 28. DTM実践③ ミキシング 29. 4回生との合同（卒業研究発表会） 30. まとめ					